

しょうぶっ子

節目、節目を大切に

三学期が始まり、学校に子どもたちの元気な明るい声が戻ってきました。

時の流れは早いもので、新しい年を迎えてからもう半月：「一月は行ってしまふ。二月は逃げてしまふ。三月は去ってしまふ。」と言われるように、この三学期はあっという間に終わってしまいま

しかし、すぐ去ってしまうこの三学期は、各学年の学習の修了の時期であり、勉強でも生活でも節目となる大事な時期だと思いません。学校行事でも、始業式、卒業式、修了式など節目となる行事があります。社会的な行事でも節分、雛祭りなど子どもたちにとっても節目となる行事があります。

古来より、人間はよりよく生きる知恵として、生活の中に行事を位置づけ、心を新たにしていって



3学期始業式の様子

- ### 教育目標
- ・進んで学習する子
 - ・思いやりのある子
 - ・心身をきたえる子

むようにしたり、生きる幸せを感じるようにしたり、自分の成長を見つめて、めでたいものとしてとらえるようにしてきました。つまり、時間は絶えず流れていくので、その流れる時間に一つの切れ目の日を位置づけて節目とし、その節目の日に心を切り替えて、よりよく生きていこうとする人間の知恵だと思えます。そうでないと、人間は時の流れるままに、だからと惰性のまま過ごす事になって成長の出来ないままに行くのではないのでしょうか。

最近では、これらの行事などが形式化して、心でとらえたり考えたりする事がなくなってきたと言われています。例えば、元旦は子どもにとってお年玉をもらう日になってしまつて、一年の決意や希望や幸せを感じる日になっていないとも言われています。これから来る節分は、単に豆をまく日になりはしないでどうか。節分も、子どもにとって「自分の心の中の悪い鬼を追い出す日」そして「良い心を入れる日」ととらえさせれば、意義のある節目の日になると思います。

各学校行事も同様だと思えます。心に節目をもって生活する事によって、めあてのある生活が生まれ、人間として成長していくと

思います。

心に節目をもって生活できるよ

うに頑張らせていきたいと思つて

います。三学期もよろしくお願

致します。

(校長・木村)

下校指導実施

恒例となつている冬場の下校指導(冬の交通安全教室)が行われました。

大雪警報が出ている最中でしたが、非常に狭くなった道路や見えにくくなつている融雪溝の口、堆積もつた屋根雪など、通学路の危険箇所を実施で確認しながらの下校指導ができ、むしろ大変有意義な教室となりました。

鶴田駐在所のお巡りさんのお話の後、各地区毎に分かれて下校しましたが、町内会長さん始め、交通安全協会や交通指導隊、防犯協会といった菖蒲川地区協議会の皆さんを中心に、保護者の方にもご



危険箇所を確認しながらの下校指導

2月の行事予定

協力いただきました。誠にありがとうございました。

雪も寒さもこれからが本番でまだまだ続きます。安全な登下校で交通事故や雪の事故に遭わないように気をつけましょう。

- 1 (金) ■休業日
- 2 (土) ■休業日
- 3 (日) ■休業日
- 4 (月) 町民スキー大会
- 5 (火) 避難訓練
- 6 (水) 職員会議
- 7 (木) 校内研
- 8 (金) ■休業日
- 9 (土) ■休業日
- 10 (日) ■休業日
- 11 (月) ■建国記念の日
- 12 (火) 校内特別支援委員会
- 13 (水) 児童会総会 校内研
- 14 (木) 委員会
- 15 (金) ■休業日
- 16 (土) ■休業日
- 17 (日) ■休業日
- 18 (月) 参観日
- 19 (火)
- 20 (水)
- 21 (木)
- 22 (金) ■休業日
- 23 (土) ■休業日
- 24 (日) ■休業日
- 25 (月)
- 26 (火)
- 27 (水)
- 28 (木) 職員会議